

地域包括支援センターにおける 現状と課題について

—業務多忙原因の分析とネットワーク
および活動事例の紹介—

京都市山階地域包括支援センター・
主任ケアマネジャー
同志社大学大学院公共政策科学研究科・博士前期課程
田中八州夫

地域包括支援センターの人員配置と 仕事について

- 職員配置
社会福祉士 保健師 主任ケアマネジャー
- 地域包括支援センターの4つのしごと
 - ・ 総合相談
 - ・ 権利擁護相談
 - ・ 包括的・継続的ケアマネジメント
 - ・ 介護予防ケアマネジメント
(特定高齢者・要支援認定者)

京都市と山科区の地域包括支援セン ターの概要

- 京都市内に61か所設置
- すべて委託されている
- 職員は基本3職種とケアマネジャー加配
- 山科区には5か所
- 担当小学校区は2～3学区
- 9か所あった在宅介護支援センターのうち5か所が残り、地域包括支援センターになった
- 人口13万人 65歳以上高齢者数3万人
- 高齢化率 22.4%

京都市山階地域包括支援センターの 紹介

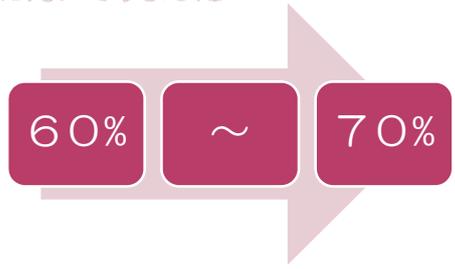
- 担当圏域 3つの小学校区
 - 山科駅に近い学区と農村が開発された交通の便があまり良くない学区がある
 - マーケットが遠い地域がある
 - 医療機関も偏在傾向
 - 圏域高齢者数4400人
 - 2009年12月作成ケアプラン数116件
- 社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーの3人体制(加配はない)

なぜ地域包括支援センターは忙しいのか・・・本当に忙しいのか??

「忙しい」=介護予防プランの作成に追われているイメージがある

では仕事の中で、どれくらい予防プラン作成にかかっているのか?!

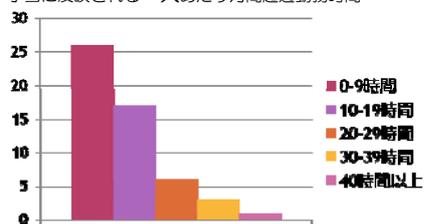
区の会議で他のセンターのメンバーに聞いてみました・・・



勤務時間の60～70%が、予防プラン関係に費やされている!!
本当にそうなのでしょうか!?

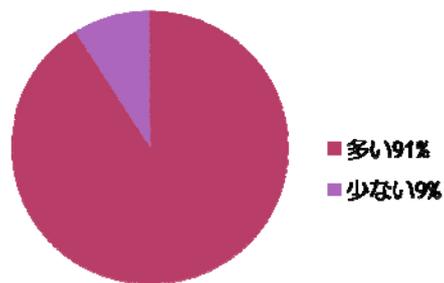
2009京都市地域包括支援センターに対する調査結果より(市連協実施)

手当に反映される一人あたり月間超過勤務時間



京都市地域包括支援センター連絡協議会資料より

数値に表れないような業務(処遇困難事例対応等)で通常業務が滞ることは多いですか?



京都市地域包括支援センター連絡協議会資料より

山階地域包括支援センターの 予防ケアプランの作成状況

	年間合計数	月間平均
2006年度新規作成数	88	7.3
2006年度作成数	447	37.3
2007年度新規作成数	52	4.3
2007年度作成数	1012	84.3
2008年度新規作成数	49	4.1
2008年度作成数	1197	99.8
2009年度新規作成数*1	43	4.8
2009年度作成数:1	996	110.7

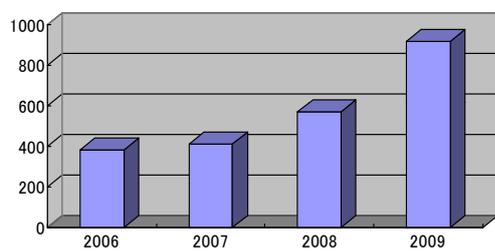
*1 2009年度は4月から12月のデータ

山階地域包括支援センターの 認定処理状況

	自立	要支援1	要支援2	要介護	合計
2007年度認定数	2	44	126	44	216
2007年度月間平均	0.2	3.6	10.5	3.6	18
2008年度認定数	2	54	146	42	244
2008年度月間平均	0.1	4.5	12.1	3.5	20.3
2009年度認定数*1	5	75	93	30	203
2009年度月間平均*1	0.4	6.3	7.8	3.3	22.6

*1 2009年度は4月から12月のデータ

山階地域包括支援センターにおける 月間平均相談件数



2009年度は4月から12月のデータ

業務多忙の原因とその対策

- **ケアプラン件数増加以外の多忙の原因**
 - ・ 予防ケアプランの再委託率低下19%→10%
 - ・ 退院援助にかかる暫定プランの増加
予防プランのシステムの工夫で改善可能
 - ・ 認定処理件数の多さ
総合相談、包括的・継続的ケアマネジメントととらえる
 - ・ 相談件数の肥大化と相談内容の高度化
総合相談・権利擁護相談の範疇
 - ・ 退院援助に伴う用具単給や改修単給の増加
簡素化または改善が必要・・・

ネットワークの大切さを痛感する

- ケアマネジャーとのネットワーク構築
 - 地域や住民とのネットワーク構築
- 地域包括支援センター職員に求められるスキルが異なる
- ◎ ケアマネジャー・・・支援・助言・同行訪問等を通じて、お互いの関係を構築していく
 - 法律的な知識やもの考え方(legalmind)も必要になってくる⇒京都市のセンター専属弁護士相談!!
 - ◎ 地域や住民・・・ニーズ発見力、調整力、適応力が必要 タイミングよく切り込み、形作っていく (コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)

山科銭湯絵図



Yahoo map より抜粋

「銭湯難民」

- 山科区に点在していた銭湯、ここ数年間で相次いで閉鎖が続いた。
 - 高齢化が進む山科北部地域 風呂のない古い民家やアパートが残っている。
 - 毎日の風呂のために、デイサービスを利用するのは、どんなものか・・・
- 認定の問題・本人の希望とそぐわない

やむをえず、伏見区石田のごみ処理施設の温浴施設や東山区の銭湯に地下鉄に乗って行っている!!

ある銭湯の試行

入浴に困っている高齢者を“無料送迎”
 火曜と金曜の夕方(混んでくる夕方まで)
 土曜日の昼間(比較的空いているらしい)
 営業時間・平日1530-2330
 土日祝1000-2330
 当初はエリアを限定して、試行していく
 各地域で集合場所を決めて“バス停方式”
 利用料金は入浴料410円のみ

さて地域包括支援センターは何をすべきか!

地域包括支援センターの役割

- **ニーズを発見する**
⇒小さいニーズは、現場でないとわからない
老人クラブの役員から情報をキャッチ。
早速、銭湯に訪問して聞き取る。
- **資源と困っている人(地域)とをつなぐ**
⇒地域特有のつなぎ方を知っているのは、地
域で活動しているから
地域の誰に持ちかければ、うまく前に進むか
知っている。
民生委員と老人福祉員の会議に出席して、潜在的な希望者の掘り起こしを依頼する予定。
希望者の多い地区を個人名を出さず、銭湯側に提供し、活用してもらう方向で考えている。

介護予防普及啓発活動の取り組み

- **山科三条商店会「わくわくフェスティバル」**
山階地域包括支援センターと山科区地域介護
予防推進センターで「認知症予防啓発コー
ナー」のブースを出展した。
2009年11月7日(土) 11時～16時
特徴:地域で熱心に活動する商店会の会長と
懇意になり、数年前から出店を認められた。
今回はセンターだけでなく、高齢者向けの介
護予防プログラムを持つスポーツクラブ
「カーブス」と協力し、トレーニングマシ
ンの実演を行った。





在宅介護支援センター最後の年に記念して発行した インフォーマルサービス掲載の冊子「山科・福祉お役立ちブック」と「ウェブ」(センターと区社協が共同で)

山科・福祉 お役立ちウェブ

もくじへ

発行 住居環境部長 室賀山科地区社会福祉協議会
発行所 山科区社会福祉協議会

目次

- 1 山科区社会福祉協議会
- 2 山科区社会福祉協議会本部
- 3 山科区社会福祉協議会本部
- 4 山科区社会福祉協議会本部
- 5 山科区社会福祉協議会本部

山科区社会福祉協議会HPより

センター職員が手分けして、一軒ずつ足で稼いだ情報を厳選し掲載した・・・

3 生活を支えるみんなの力

お料理が楽になります 高齢 ① 障害 ②

サービス名	内容	対象	費用	申込	お問い合わせ先
お料理教室	お料理教室	高齢者	無料	要	山科区社会福祉協議会
お料理教室	お料理教室	障害者	無料	要	山科区社会福祉協議会

障がい者のためのお料理教室 高齢 ① 障害 ②

サービス名	内容	対象	費用	申込	お問い合わせ先
障がい者のためのお料理教室	障がい者のためのお料理教室	障がい者	無料	要	山科区社会福祉協議会

車に乗ってくれる車 義母様さん 高齢 ① 障害 ②

サービス名	内容	対象	費用	申込	お問い合わせ先
車に乗ってくれる車	車に乗ってくれる車	高齢者	無料	要	山科区社会福祉協議会

山科区社会福祉協議会HPより

山科は坂道が多く、バス路線が発達していないので、買い物に困る高齢者が多い

食品、日用品を届けます 高齢 ① 障害 ②

サービス名	内容	対象	費用	申込	お問い合わせ先
食品、日用品を届けます	食品、日用品を届けます	高齢者	無料	要	山科区社会福祉協議会

在宅介護サービス 高齢 ① 障害 ②

サービス名	内容	対象	費用	申込	お問い合わせ先
在宅介護サービス	在宅介護サービス	高齢者	無料	要	山科区社会福祉協議会

山科区社会福祉協議会HPより